



## くしろ「木づな」プロジェクト

[平成 28 年度事業報告・平成 29 年度事業計画]

# 要旨

釧路森林資源活用円卓会議は平成 26 年度で発足から 5 年目の節目を迎え「第 1 期」として総括しました。  
平成 27 年度以降は「第 2 期」として「第 1 期」の実績をもとに新たな視点で展開しています。

## 目次

要旨	2
平成 28 年度事業報告	3
○林地未利用材集荷システム実証試験	5
平成 29 年度事業計画（案）	6
○（仮称）林業担い手発掘事業	7
○（仮称）大人の木育	8

### 釧路森林資源活用円卓会議について

釧路市は、平成 17 年の 3 市町合併により、森林面積は約 10 万 ha（全道の市で 1 位）。人口 10 万人、森林面積 10 万 ha を超えるのは全国で 3 市のみと、まさに釧路市は「森林都市」（森林率 74%）と言えます。

この「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を H22.11 設置(川上部会 H22.12、川下部会 H23.2)しました。

これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

# 平成 28 年度事業報告

平成 28 年度の活動状況は次のとおりです。

## <もっと知る>

<b>林地未利用材集荷システム 実証試験【別紙 1】</b>	高性能林業機械の能力を最大限発揮する施業環境と生産性について実証試験を行った。
------------------------------------	---

## <もっと使う>

公共建築物	釧路市立図書館什器備品（検討開始）
民間建築物	くしろ・ねむろ「木づな」の家（地域型住宅グリーン化事業）
商品開発	<p>【試作・検討】</p> <p>・<b>「Karadeco」プロジェクト【別紙 2】</b></p> <p>【商品化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カラマツ×エゾシカ応接セット（得地ファニチャ）</li> <li>・カラマツ×トドマツ×広葉樹 積み木セット（釧路短大との連携）</li> <li>・カラマツ×広葉樹 幼児用おもちゃシリーズ（釧路短大との連携）</li> <li>・カラマツ置時計（釧路観光工芸）</li> <li>・百寿雀（得地ファニチャ）</li> </ul> <p>【受賞】</p> <p>・<b>ウッドデザイン賞 2016【別紙 3】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>丸善木材(株)「からまつストレッチャーベンチ」</li> <li>札幌ベニヤ(株)「ネームホルダー【CRANE】」</li> </ul>

<もっと伝える>

<p>研修会の開催</p>	<p>11/2 林地未利用材集荷システム実証試験現地見学会          12/8 高校生を対象とする「じもと×しごとフェア」出展          2/15 若年求職者向け企業見学会（丸善木材）          3/14 高校生を対象とする企業説明会出展          職業紹介パンフレット「山のしごと・木のしごと」発行</p>
<p>域内利用の取組</p>	<p>6/25 子どもチャレンジ（まなぼっと）          7/4 大楽毛よしの幼稚園木育教室          8/28 木育イベント「小さな木の家」（こども遊学館）          9/3 木と友だちになろう木育プロジェクト（湖畔幼稚園）          10/20_21 釧路市内小学校での木育教室（森林室：計3回）          10/22 釧路安心住まいフェア（こども遊学館）          11/12_13 2016 木育・森づくりフェア（イオン釧路店）          1/22 釧路短大 KJC ランド木育教室          2/4_5 メイドインくしろ出展（国際交流センター）</p> <p>イトーヨーカドー釧路店において釧路産木製品の展示          小冊子「くしろの木製品」の改訂</p>
<p>域外利用の取組</p>	<p>域外での展示          →10/31～11/2 産業交流展（東京ビッグサイト）          くしろ木づなショーケース出展          →11/10_11月 ビジネス EXPO（札幌市）への出展          常設展示（継続） 管外：道庁本庁舎 1F（学習机、イーゼル）          小冊子「くしろの木製品」の改訂（再掲）</p>

## 【別紙 1】

## ○林地未利用材集荷システム実証試験（資料 1 参照）

北海道からの委託を受け「くしろもうかる未利用材搬出研究会」により実施

調査箇所の所在市町村	釧路市	林小班	3223 林班 33・41 小班		
地況と林況	実証調査箇所の面積	4.52 h a （森林調査簿の面積 5.12 h a）			
	傾斜等	10 度以下	樹高	21m	
	林種	人工林	植栽樹種	カラマツ	
	林齢	33 年生	立木材積	256m <sup>3</sup> /h a	
	平均胸高直径	21.0 c m	立木密度	1,005 本/h a	
施行方法	植栽本数	不明	伐採種	間伐	
	間伐方法	列状間伐	最小利用径級	14cm（製材用）	
	集材距離	最長 480m（伐採列最長 160m）			
	伐採材積	273.346m <sup>3</sup>	搬出材積	273.346m <sup>3</sup>	
集荷システム	<p>ハーベスタ及びグラブ付フォワーダを活用した短幹集材システム          …CTL（Cut to Length）システム</p> <p>○造材作業（伐倒→枝払・玉切） オペレータ 1 名          ○集材作業（搬出→巻立） オペレータ 1 名</p> <p>ハーベスタによる造材を先行させ、フォワーダを後追いとする事で最小限の人工数を実現          追い上げ採材は行わず、梢端部も積載可能な長さでカットし搬出する</p>				
	バイオマス生産量	181.870m <sup>3</sup>			
作業 功 程	機械等の名称	稼働時間	作業量	日当たり作業量	備考
	ハーベスタ	6:43:36		75.647m <sup>3</sup>	11/1
	フォワーダ	6:33:17		45.171m <sup>3</sup>	11/1

## 【結果概要】

- ・最小限の人工数のなかで、追い上げ材を発生させないなどの工夫を行い、造材歩留 90%を超えることができた。
- ・少ない人工数では従業員の創意工夫が成果に直結することからやりがいや成績評価の面で有効。
- ・20 m<sup>3</sup>/日/人という欧州並みの生産性を達成することは可能。
- ・効率面ではCTL 施業が最良であるが汎用性で路網型に劣るため、普及手法に検討が必要。
- ・北欧ではマーケットの需要をオンラインで造材に反映させる方法に進化している。国内の検知方法も改良の余地が大いにある。

## 平成 29 年度事業計画（案）

平成 29 年度は次のような活動を実施予定です。

### <もっと知る>

より効率的かつ低コストな施 業モデルに向けて	森林総研北海道支所と連携した造林の機械化試験
---------------------------	------------------------

### <もっと使う>

公共建築物	・釧路市立図書館における地域材を活用した什器備品の開発
民間建築物	（継続）くしろ・ねむろ「木づな」の家 （継続）民間建築物への活用促進の取組
商品開発	・「くしろ木づなプロジェクト商品開発の事業戦略」で開発した品目（ジャンル）からの絞り込み ・事業相談の受付から製品化の支援 ・「Karadeco」プロジェクトの実施

### <もっと伝える>

研修会の開催	・研修会、シンポジウムを年 4 回程度実施 → <b>（仮称）林業担い手発掘事業【別紙 4】</b> → <b>（仮称）大人の木育【別紙 5】</b>
域内利用の取組	・イベント参加、展示会開催 ・常設展示 イトーヨーカ堂釧路店 3F で継続実施中（3ヶ月更新） ・市内複数ジャンル企業への営業、開発製品製作者の掘り起こし
域外利用の取組	・「マルシェくしろ」「阿寒マルシェ」等、観光客の来店が見込まれる箇所でのテスト販売 ・各種展示会等への出展

【別紙4】

○（仮称）林業担い手発掘事業（資料2参照）

平成28年度に現役高校生を対象とした企業説明会に2回出展

次代の担い手になり得る若年層を対象に、林業・林産業の魅力を伝えるため、次の取組を行う。

①林業施業現場～木材加工場見学バスツアー

木づなメンバーや森林組合等、森林整備事業を実施している事業者に協力していただき、現場見学を実施。

⇒作業内容：（川上）除間伐・枝打ち、主伐（集材・玉伐・枝払い）、運材  
（川下）剥皮、仕分け～製材、集成材、プレカット 等

②高校生を対象とした出前講座

- 日時 秋季を予定
- 対象 釧路市内高校1年生を予定（工業高校と調整中）
- 内容 「釧路の森林及び林業・木材産業の説明」及び「企業業務内容説明」（50分程度）  
（釧路森林資源活用円卓会議構成員及び事務局にて対応）

③各種企業説明会等への出展

④職業紹介パンフレット「山のしごと・木のしごと」完成版の発行

**【別紙5】**

---

○（仮称）大人の木育（資料3参照）

「くしろ木づなプロジェクト」の市民への一層の普及をめざし、次の事業を行う。

**【企画の趣旨】**

- 市民の中に「くしろ木づなプロジェクト」のフォロワーを確保し、消費者のニーズ調査や、試作品のモニターなどへの協力をいただく。
- くしろ子ども遊学館との連携による木工教室といった、「木育」「木工」というなじみやすいジャンルから「森林・林業・木材産業」への理解を深めるプログラム作成を行う。

**【実施内容】**

- 「大人の木工教室～カラ箱づくり」（くしろ子ども遊学館）
  - 「ベンチぴかぴか大作戦」（子ども遊学館）
-